



信頼と社会の発展に貢献する
機械総合商社



2019年3月期 決算説明会

2019年5月28日

東京産業株式会社 (8070)

- ◆ 決算概要
- ◆ 中期経営計画の進捗
- ◆ 株主還元
- ◆ トピックス
- ◆ 基本情報

決算概要 損益計算書

売上・利益とも前年同期実績を上回り、二期連続過去最高益を更新！

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比	
			前年同期比	計画比
成約高	142,363	120,354	△ 22,008	
成約残高	116,572	111,377	△ 5,194	

売上高	104,586	125,549	+ 20,963	△ 4,450
売上総利益	7,300	7,615	+ 314	
営業利益	2,197	2,292	+ 95	△ 107
経常利益	2,335	2,573	+ 238	+ 73
当期純利益	1,627	1,745	+ 118	+ 45
一株当たり当期利益(円)	60.59	64.92	+ 4.33	+ 1.66

決算概要 セグメント別業績

電力事業は火力・バイオマスを中心に好調な推移
 化学・環境事業は再生エネルギー関連が牽引、増収増益

(単位:百万円)

セグメント別	成約高			売上高			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減比 %	2018年3月期	2019年3月期	増減比 %	2018年3月期	2019年3月期	増減比 %
電力事業	71,470	59,885	△16.2%	53,883	64,428	+19.6%	796	607	△23.7%
化学・環境事業	54,434	43,210	△20.6%	34,923	44,730	+28.1%	1,101	1,272	+15.5%
電子精機事業	10,604	10,744	+1.3%	10,672	10,083	△5.5%	136	127	△6.1%
生活関連事業	5,719	6,378	+11.5%	4,972	6,172	+24.1%	90	216	+139.8%

決算概要 貸借対照表

エネルギー関連取引増により、総資産は14,983百万円の増加

2018年3月期 (単位:百万円)

総資産 59,716

流動資産 44,621	負債 36,753
固定資産 15,095	純資産 22,962

自己資本比率: 38.5%

2019年3月期 (単位:百万円)

総資産 74,699 (+14,983)

流動資産 56,737 (+12,116)	負債 50,686 (+13,933)
固定資産 17,962 (+2,867)	純資産 24,013 (+1,050)

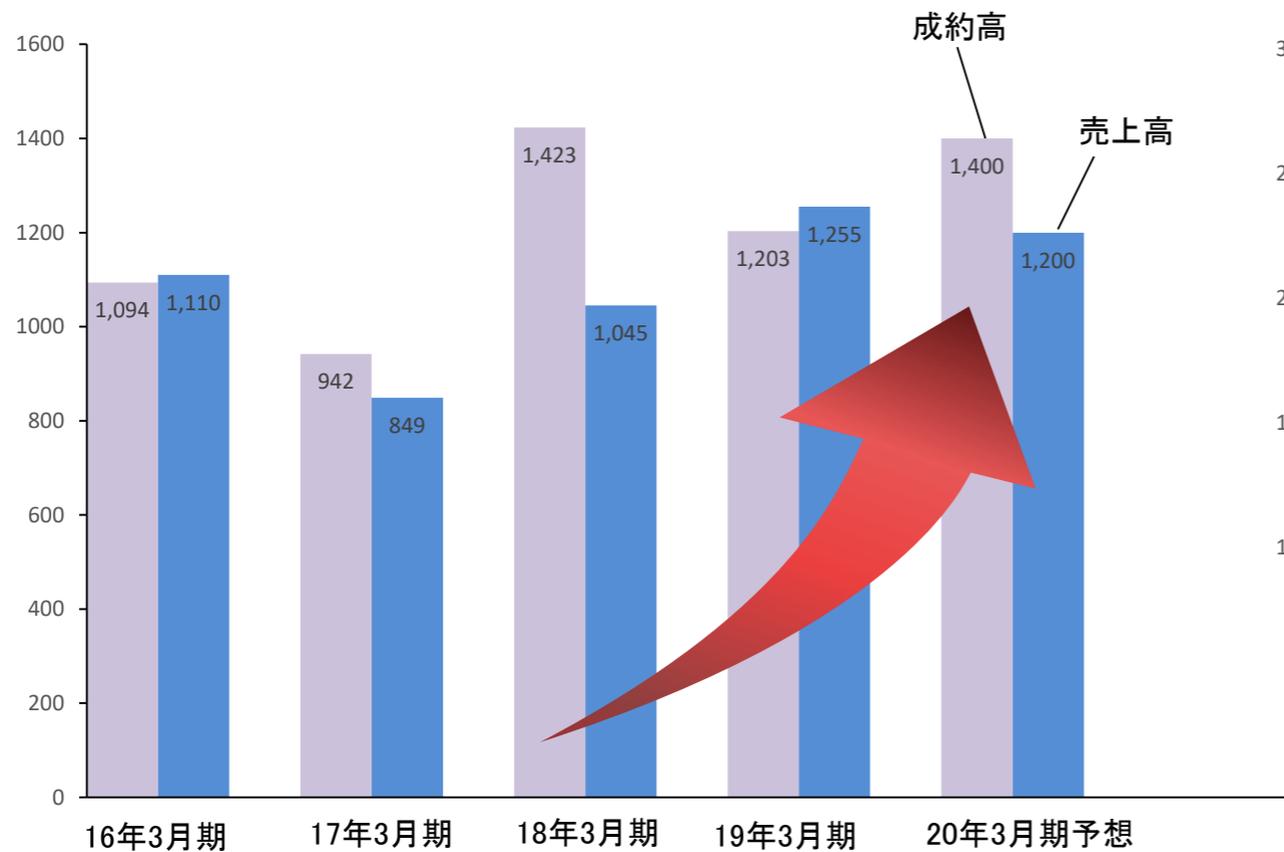
自己資本比率: 32.1%

決算概要 業績推移および2020年3月期業績予想

2020年3月期は中計最終年度として、中計目標達成・最高益更新を狙う

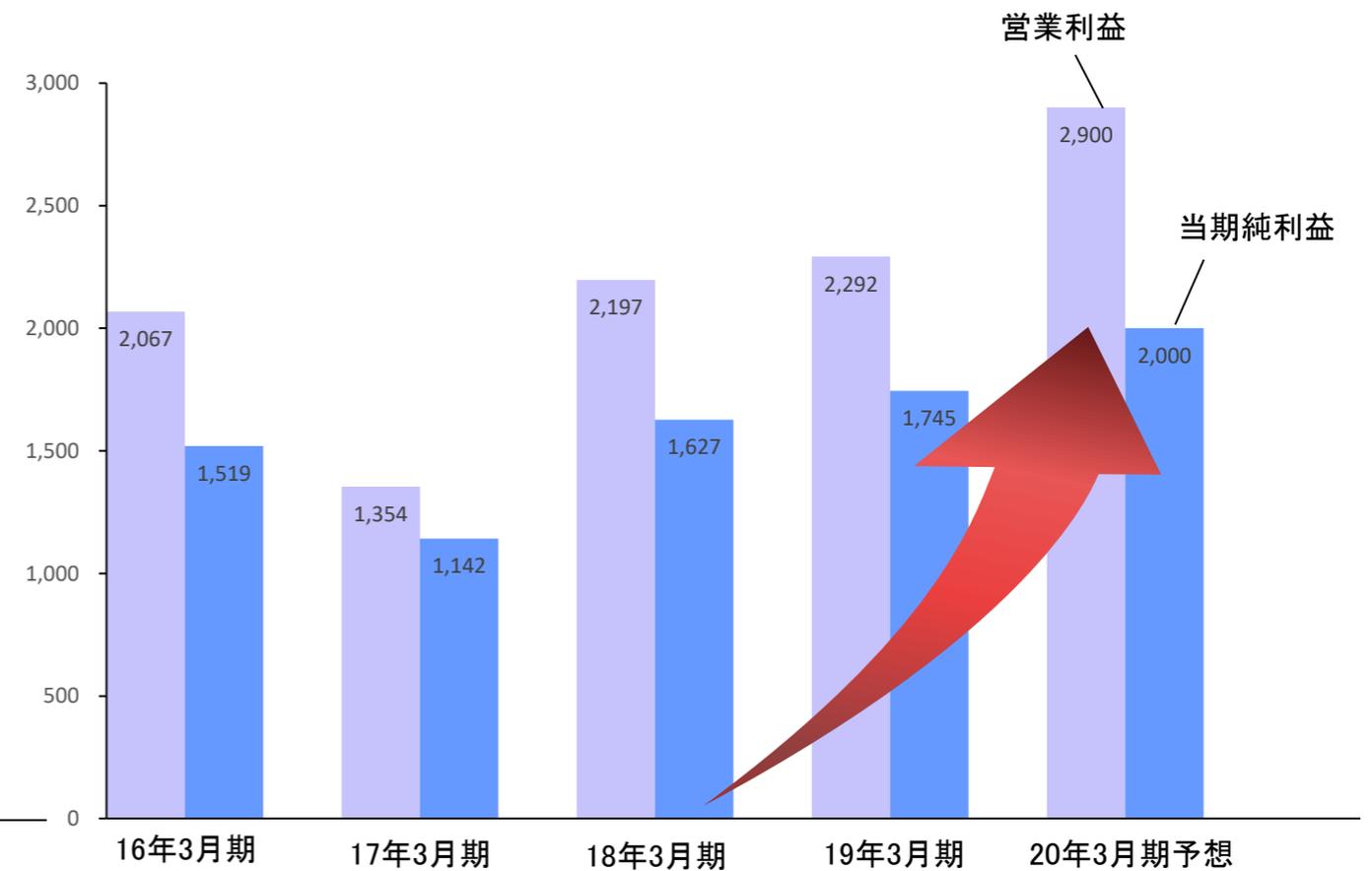
■ 成約高・売上高推移

(単位:億円)



■ 利益推移

(単位:百万円)



中期経営計画の進捗



■ 成長戦略(コア・ファイブ)

エネルギーへの対応深化

- 発電から送配電まで、資材調達から廃棄処理まで、電力の多様化・自由化・効率化へ総合的かつ積極的に対応

モノづくりイノベーションへの挑戦

- IoT・ロボット活用など製造業の技術革新やスマートファクトリーへの対応、次世代自動車技術への積極的関与

新規事業への取り組み

- 機械商社の枠組みにとられない独自色をだせる新規事業の発掘・開拓、より付加価値を高めるための川上への展開も視野

グローバルビジネスの強化

- 海外顧客基盤の拡充と良質な海外製品の紹介、ODA(政府開発援助)等海外インフラ案件への参画

人財の育成

- 採用の強化・OJTの充実を通じた、人材の早期戦力化・グローバル化・マルチタレント化の推進

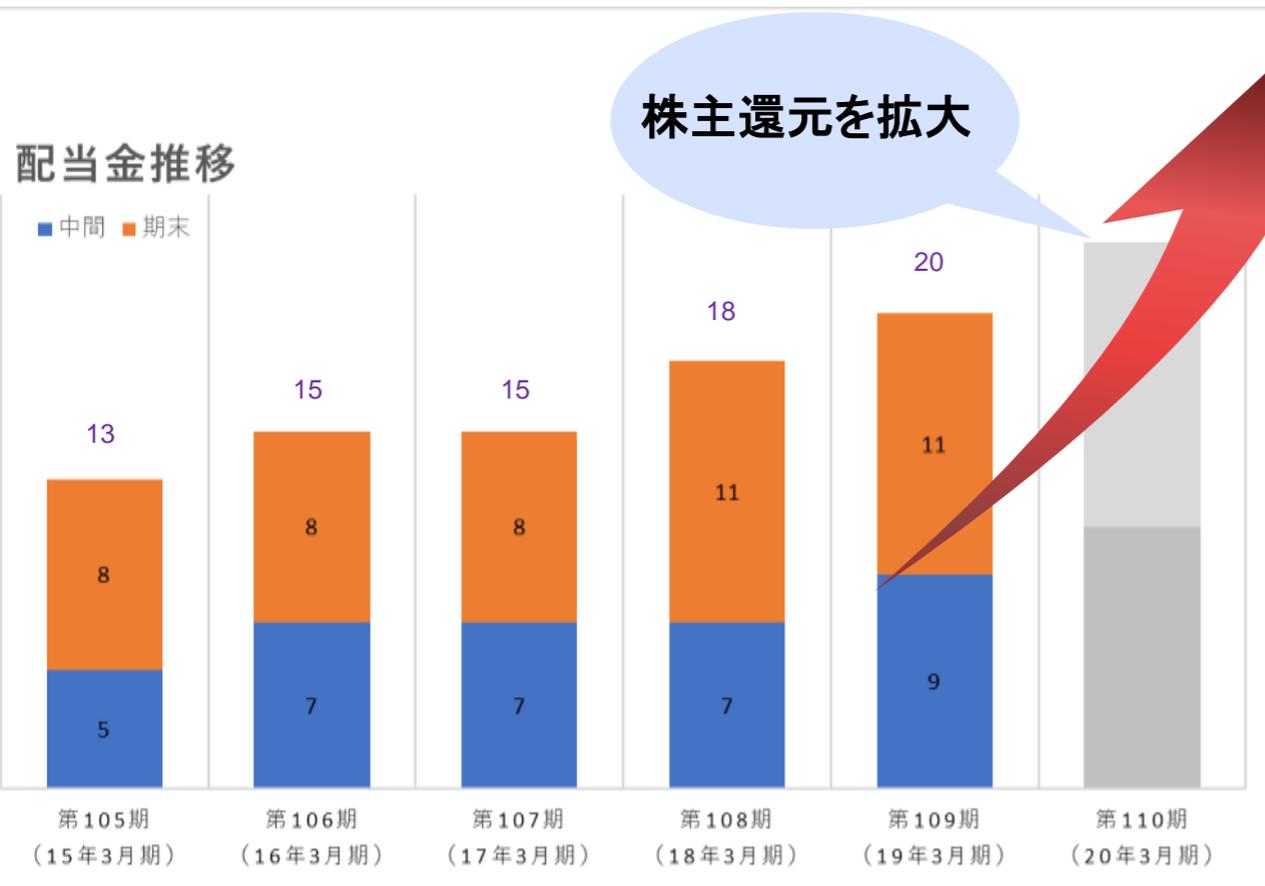
■ 財務目標

(単位:億円)

	2018年3月期	2019年3月期		2020年3月期	
	実績	実績	2018/3比	予想	2019/3比
売上高	1,045	1,255	+ 209	1,200	△ 55
経常利益	23	25	+2	30	+ 4
当期利益	16	17	+1	20	+ 2

株主還元 配当予想

- ・ 2019年3月期 **増配** します
- ・ 中期経営計画に基づく業績にあわせ、今後も株主還元の極大化を目指します



	中間	期末	計
2015年3月期	5円	8円	13円
2016年3月期	7円	8円	15円
2017年3月期	7円	8円	15円
2018年3月期	7円	11円	18円
2019年3月期	9円	11円	20円
2020年3月期	20円-23円		(予定)

- **配当政策**
 - ・ 株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題と認識
 - ・ 安定配当の維持を基本としつつ、
業績と今後の事業展開を勘案して増配を検討

■ 進捗状況

- ✓ 昨年契約済みの燃料(PKS)供給を今上期より開始予定
- ✓ マレーシア産ペレット、PKS供給商談進行中
- ✓ マレーシアに新拠点を開設予定

■ 戦略的意図

- 2030年度エネルギーミックス計画では再生可能エネルギーが22~24%
- 火力から再生可能まで幅広い取り組みにより、今後のエネルギー政策へ対応
- ✓ 海外拠点と連携、燃料サプライヤーと関係深耕

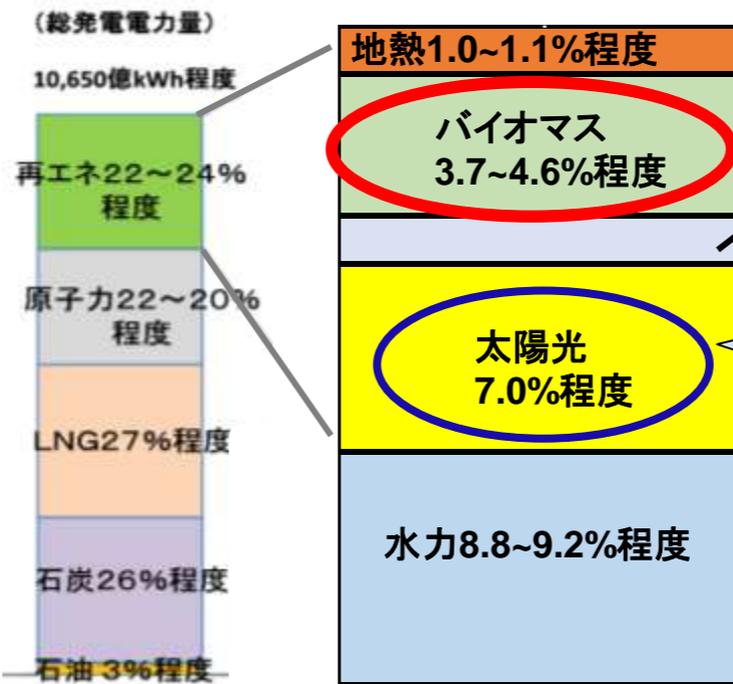
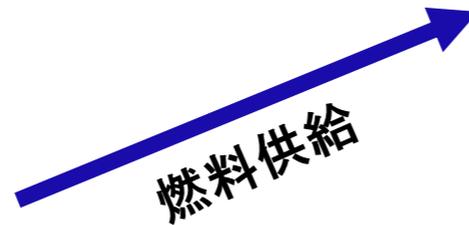
【海外ネットワークを活かした燃料供給】



PKS パームヤシ殻
(マレーシア/インドネシア)



白ペレット 木質チップ
(ベトナム)



2030年度 電源構成 (経済産業省の資料を基に作成)

順次稼働により、
総発電規模は
35MW超



■ 進捗状況

- A.L.I.technologies社との関係深化
- ✓ エアモビリティの公開飛行試験実施
- ✓ テスト機向け部材の一部を当社が供給

■ 戦略的意図

- ✓ 2020年以降に実用化が予定され、大きな需要が見込まれる、エアモビリティ業界への参画
- ✓ ドローン技術、画像解析技術を活用した、当社顧客への展開

【 A.L.I.technologies 社の事業領域】

エアモビリティ事業



エアモビリティ
社会のインフラ
構築

ホバーバイク
「speeder®」
の開発・販売

ドローン事業



コンサル・協働、開発
などのアライアンス事業

点検ドローンの開発・
導入

コンピューティングパワー プール事業 (CPP事業)



ブロックチェーン技術を
活用し演算力を貸し出す
クラウドサービス

TSC 【当社の役割・協業内容】

ホバーバイク開発に向けた
・フレーム等の部材調達
・部材購入先の選定支援

当社の販売チャネルを活用した
・ドローン事業における技術検証・実機開発に向けた
提携先の紹介・支援
・CPP事業における画像解析サービスなどの顧客開拓

■ 進捗状況

- ✓ サトウキビ由来の原料を使用した
グリーンポリエチレン包装資材を販売開始
- ✓ 国内複数顧客に対して養殖設備並びに建屋を
含めたフルターンキーベースの設備を提案中

■ 戦略的意図

- ✓ 環境にやさしい包装資材の拡販
- ✓ SDGs達成に向けた取り組み
- ✓ 持続可能型社会実現に向け水産養殖業を
最新のテクノロジーを用いてサポートする

生分解性プラスチックも
提案中

【環境意識の高いユーザー様からの引合増加】

(一財)日本品質保証機構認証済
グリーンポリエチレン包装資材の販売



GP0001



バイオマス
No.170020

【世界的に生産量が増加中の養殖業への機器供給】

AKVA社製品による海上養殖



■ 進捗状況

- ODA(政府開発援助)を通じて途上国・新興国のインフラ整備を支援
- ✓ ベトナム下水道 大型プロジェクト受注
- ✓ ベトナムでの事業拡大に向けJ/V設立を計画

■ 戦略的意図

- 国の社会基盤であるインフラ事業参画による海外ビジネス多様化
- ✓ その他ASEAN地域にも展開を図る

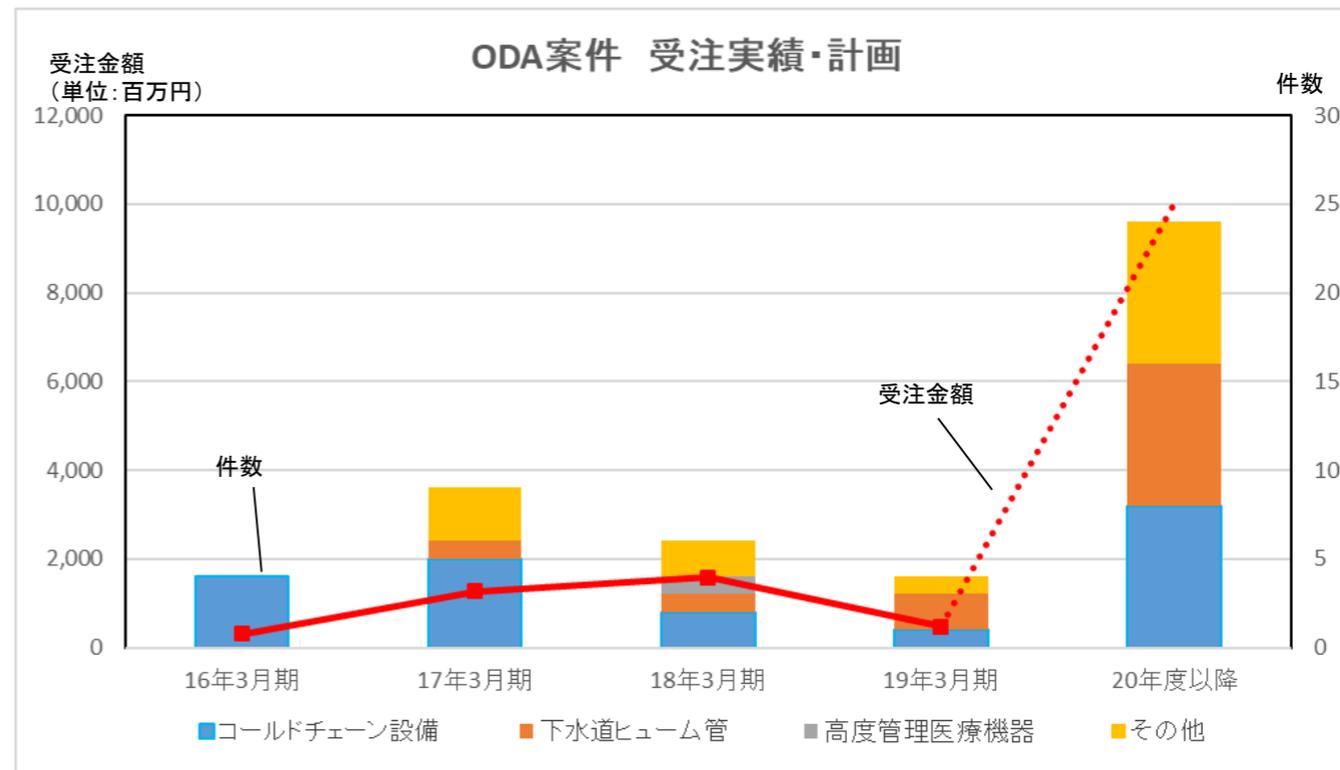
ヒューム管



推進機



車両(トラック)



拠点網

Frankfurt, GERMANY

■ 海外拠点の拡大

- 2018年4月 中国・平湖
- 2018年6月 ベトナム・ハノイ本店
- 2018年8月 ベトナム・ホーチミン支店
- 2018年12月 マダガスカル
- 今後 マレーシア(予定)



■ グローバル拠点間の協業

顧客のグローバル展開にあわせ、
海外拠点間取引を拡大



SINGAPORE
Jakarta, INDONESIA

MADAGASCAR

Tokyo, JAPAN
Shanghai, CHINA
Pinghu, CHINA
Taipei, TAIWAN
Guangzhou, CHINA
Hanoi, VIETNAM
Ho Chi Minh City, VIETNAM
Bangkok, THAILAND

Aguascalientes, MEXICO
Silao, MEXICO
Queretaro, MEXICO

Ohio, U.S.A.
California, U.S.A.

■ シンガポール・タイ - eコマース事業

シンガポール・タイにてBtoB向けeコマース事業を開始
今後もASEAN地域において新規事業を開拓



■ 意図

✓ 事業を通じてSDGs(持続可能な開発目標)を積極的に推進し、
当社の企業理念である「信頼と貢献」を実現する

■ 進捗状況



✓電力事業での
ノウハウを活かした、
再生可能エネルギー
関連事業への取組み



✓ODA案件を通じた、
発展途上国への
インフラ整備に貢献



✓グリーンポリエチレンを
原料とした包装資材の
販売による、
環境課題への対応



✓当社関連会社である、
営農会社たてしな
サンサンファームでの、
農地活用

基本情報①

創立70年を超える機械総合商社

筆頭株主は火力発電システム事業を手掛ける三菱日立パワーシステムズ

■ 基本情報

会社名:	東京産業株式会社
所在地:	東京都千代田区大手町二丁目2番1号
代表者:	代表取締役社長 里見 利夫
創立:	1947年10月20日
資本金:	3,443,284,858円
事業内容:	各種機械・プラント・資材・工具・薬品 などの国内販売ならびに貿易取引、 不動産賃貸業
事業拠点:	国内22ヶ所(子会社4社 関連会社1社) 海外17ヶ所(" 9社)

■ 沿革

- 1942年に機械機具の製造販売を業とする大和機械(株)を設立
- 1947年三菱商事(株)の解散が命ぜられ同社機械部有志が当社の経営権を譲り受ける、商号を東京産業(株)に変更
三菱系各社支援の下、一般産業機械及び器具類の国内販売、輸出入を業とする機械専門商社として新発足
- 1950年代に名古屋、仙台、大阪(現関西)等、主要な国内各拠点を開設
- 1959年東京証券取引所に店頭株として公開、1961年の二部上場を経て、1996年東証一部に指定替え
- 2000年代にかけて、海外拠点を相次いで開設、海外展開を積極化
- 2017年10月に会社創立70周年を迎える

基本情報②

■ 海外ネットワーク



■ 国内ネットワーク



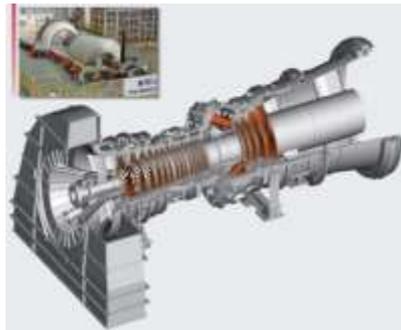
セグメント概要

電力事業

- 電力会社向けに発電設備の新設・既存設備の保守メンテナンス、アフターサービスなどの行っております
- 燃料供給からプラント工事、灰処理までエネルギー事業に対し幅広く取り組んでいます



PKS パームヤシ殻
(マレーシア/インドネシア)



ガスタービン

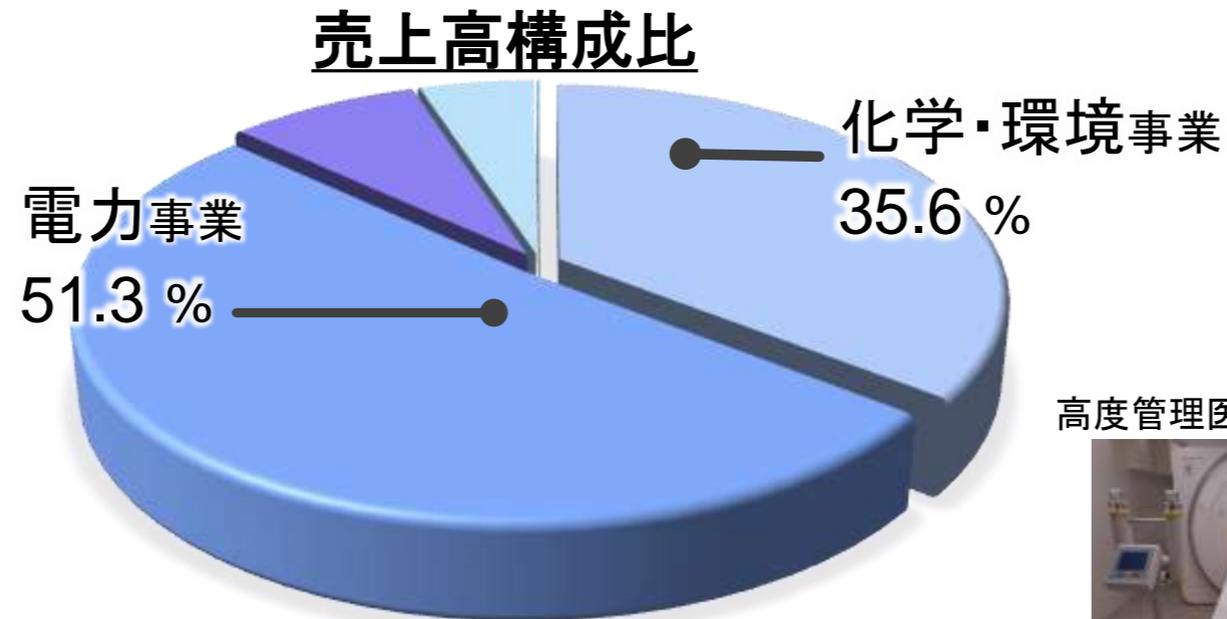
化学・環境事業

- 化学関連業界のプラント向けに機械設備の販売、工事請負を提供しています
- 再生可能エネルギー、海外ODA、製氷・冷凍事業など、新規事業に積極的に挑戦しています



関ソーラーパーク
建設場所: 岐阜県関市

高度管理医療機器(MRI)



セグメント概要

電子精機事業

- 国内外の自動車・IT関連設備を中心に様々な工作機械や電子精機の販売・導入支援を行っております
- アジア、欧米諸国に幅広くサービスを提供しています



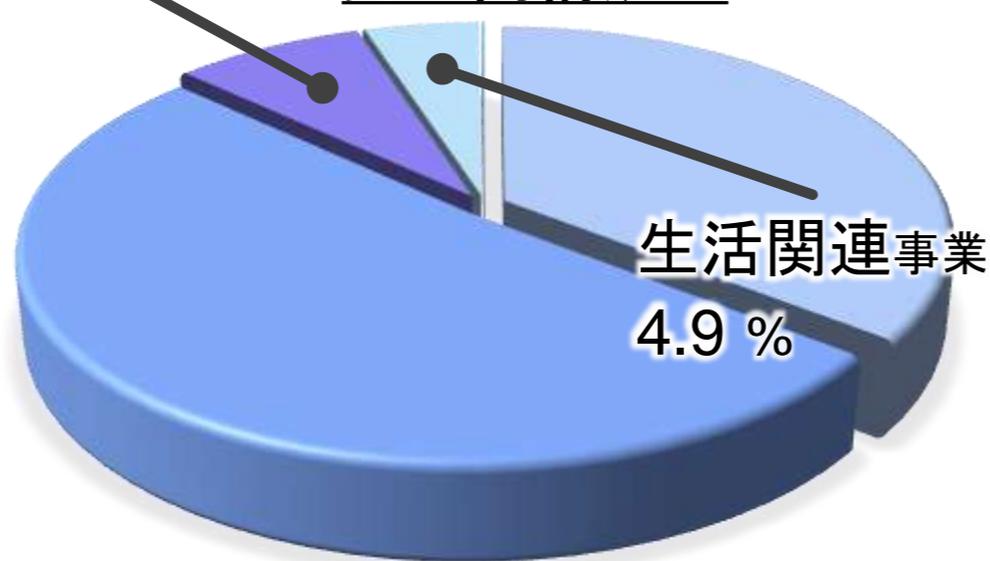
ロボドリル



ダイカストマシン

電子精機事業
8.1 %

売上高構成比



生活関連事業

- スーパー・コンビニ向けの包装資材トイレ自動流水器など、生活に関わる事業を展開しています
- また、米穀加工機メーカーと協業し、幅広い分野へ拡販するなど新規事業にも積極的に取り組んでいます



包装資材



トイレ自動流水器

ご清聴ありがとうございました

東京産業株式会社

<http://www.tscom.co.jp/>

問い合わせ先 企画部 企画課

Tel. 03-6777-3142 Fax. 03-6672-5303

E-mail. info@tscom.co.jp

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。